

* * *

次号の特集予告

286 巻 2 号(2023 年 7 月 8 日号)

オキシトシンの向精神作用と精神疾患治療応用への展望

企画：門司 晃(慈光会若久病院院長)

- ・近年、オキシトシンは下垂体後葉だけでなく脳内の他の部位でも分泌されることが判明し、分泌されたオキシトシンは扁桃体や大脳皮質などで作用し、抗ストレス作用、摂食抑制作用などを示すことが明らかになった。
- ・オキシトシンをヒトに経鼻投与する実験により金銭取引で相手との信頼関係を高めることがわかり、精神科領域においては、自閉スペクトラム症(ASD)の社会行動障害を改善する効果が期待されている。
- ・本特集では、オキシトシンの神経機能解剖学、抗炎症作用、精神科領域(統合失調症、ASD、知的・発達障害、高齢者など)への治療応用や課題に関して各分野のエキスパートに最新知見をご紹介いただく。